

業 種	索道
取組分野	教育・訓練
テ ー マ	限られた人員内での技術業務知識の習得とスキルアップ
取組の狙い	運輸技術部門の限られた配置人員の中、定期検査時の教育・訓練（継続的 OJT）等を通じて各人の多能化を図ることで、組織全体の安全管理レベル向上をめざす
具体的内容	御在所ロープウェイ(株)では、検査、点検等の作業について、業務知識の習得とスキルアップを図りつつ、専任者のみならず他業務の担当者も実施可能な体制を構築している。 1. 教育・訓練により比較的簡単にできる日常点検等は、専任担当者以外の者（他業務担当者）に行わせ、専任担当者は難易度が高い設備・装置等の定期的な検査作業に多くの時間を割けるようにし、役割分担と責任を明確化した上で効率的な作業を実現している。 2. 他業務担当者は運行の業務知識はあるが、技術的な知識が足りないため、各種測定器等使用する機器の基礎知識の習得から始め、適正な使用方法の実地訓練を行う等、教育・訓練に工夫をこらしている。今後もマンツーマンの OJT 教育など継続的に実施しつつ内容の充実を図る予定である。 3. 現在、教育の一環として、他業務担当者に写真入りのマニュアル（【参考】を参照）を作成させている。今後はより一層個人のスキルアップを図るために、教育・訓練自体を PDCA サイクルにより向上させていくこととしている。
取組の効果	1. 普通索道に関しては、専任担当者を含め部全体 15 人で点検可能になった。 2. 他業務担当者においても油切れや故障等の異音を早期に察知することができるようになり、事故・故障の未然防止に向けた迅速な安全対応が可能になった。
事業者名	御在所ロープウェイ(株) (連絡先：運輸技術部 電話 059-392-2261)

1 ヶ月検査作業手順

○ 搬器制動機・圧縮機・給電軌条・保安装置測定用紙(山上・山麓共通)

搬器制動機・圧縮機・給電軌条及び保安装置測定用紙

☆山頂原動停留場

年 月 日

天候 気温 °C

測定者 ①

◎搬器制動機

	主制動	補助制動	減速制動	搬器位置	補助制動
設定値	207	168	175	170	165
測定値		②			

◎空気圧縮機

	①	②
設定値	0.5~0.8Mpa	0.5~0.8Mpa
測定値	Mpa	Mpa

◎給電軌条の摩耗量

	出発装置	到着装置
前月値	4 mm	3 mm
摩耗量	mm	mm

◎非常事態を検出するための装置

	設定値	測定値
S1	97 mm	mm
S2	55 mm	mm
S3	470 mm	mm
S6	190 mm	mm
S7	445 mm	mm

◎運転保安検出

	検査側番号	号
出発側		
到着側		

☆山麓緊張停留場

年 月 日

天候 気温 °C

測定者 ①

◎搬器制動機

	主制動	補助制動	減速制動	搬器位置	補助制動
設定値	210	210	194	167	165
測定値		②			

◎空気圧縮機

	①	②
設定値	0.5~0.8Mpa	0.5~0.8Mpa
測定値	Mpa	Mpa

◎給電軌条の摩耗量

	出発装置	到着装置
前月値	4 mm	mm
摩耗量	mm	mm

◎非常事態を検出するための装置

	設定値	測定値
S1	95 mm	mm
S2	55 mm	mm
S3	468 mm	mm
S6	190 mm	mm
S7	460 mm	mm

◎運転保安検出

	検査側番号	号
出発側		
到着側		

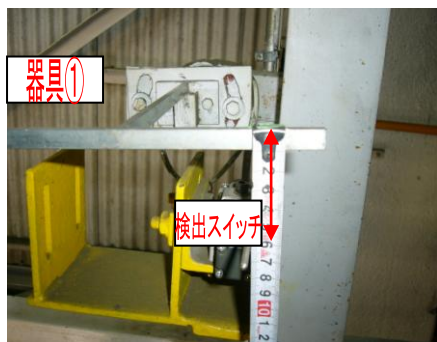
- ① 実施日、天候、気温、測定者の氏名記入。
- ② 搬器制動機測定（到着側・・・主制動、第2ブレーキ、減速ブレーキ）（出発側・・・搬器位置ブレーキ、追突防止ブレーキ）



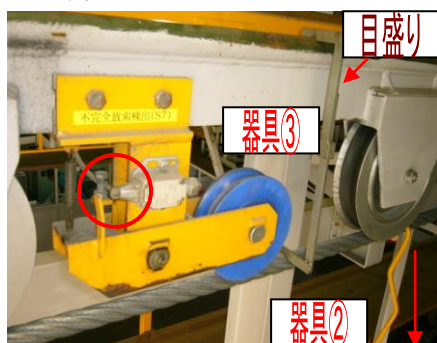
2名一組にて電磁弁を動作させ、ブレーキが作用している状態にして上図赤→内の数値を測定する。尚、ブレーキ内にパットがある場合はパット表面までを測定する。測定する位置については各ブレーキ前に目印があるのでその前方を測定する。

③ 各種保安装置測定

S1、S2、S6測定



S7測定



保安装置本体の異常（検出スイッチの歪みなど）がないか確認し、器具①を設置して器具上部から検出スイッチまで（左図赤→）を測定する。S1、S2、S6の測定は基本的に同じであるが、搬器の検出板が検出スイッチの下部で動作するS1、S2は検出スイッチの下部までを、検出スイッチの上部で動作するS6は上部までを測定する。

注）器具①はレールに対して平行に設置されており、測定時は器具に対してメジャーを垂直にして測定する。

保安装置本体の異常（ばねの破損など）がないか確認し、器具②を使い、曳索を下げたS7のリミットスイッチ（赤○）が動作した所で器具③に表記されている目盛りを測定する。

曳索を器具②で下げるときは垂直に下げないと正規の設定値が出ないので注意する。尚、1名では困難な為、2名で作業を行い、曳索を下げる係と測定する係に分かれて作業を行う。